

教育学論集 10 2014

The Journal of Doctoral Program in Education

筑波大学大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻

University of Tsukuba

『教育学論集』第10集 目次

I. 研究論文

藤井 穂高

北アイルランドにおける4歳児就学義務制度の課題 1

ミソチコ グリゴリー

ロシア連邦における外国籍の子どもの教育保障の課題
－移民関係法令の分析から－ 25

II. 研究ノート

窪田 眞二

学校第三者評価の役割と制度設計上の課題探求のための予備的考察
－学校の第三者評価のガイドラインの策定等に関する
調査研究協力者会議での議論を手がかりとして－ 45

米澤 茂

プラトンの『リュシス』におけるソクラテスの「友愛」概念 61

手打 明敏

多目的型地域センター施設としての自治公民館
－宇佐川満の公民館論を手がかりとして－ 83

III. 博士論文概要

タスタンベコア・クアニシ

カザフスタンの言語教育政策に関する研究
－母語教育保障の理念と実態に焦点を当てて－ 103

橋本 憲幸

国際教育開発の正当化根拠に関する理論的研究 109

池谷美衣子

長時間労働に対する解決主体の形成に関する社会教育学的研究
－社会運動を通じた過労死遺族の変容に着目して－ 115

嶺井 明子	
戦後日本における国際理解教育政策の展開に関する研究	121
大谷 奨	
戦前北海道における中等教育制度整備政策の研究 －庁立学校の設置過程と北海道会－	127
丹間 康仁	
住民と市町村行政機関の学習を基盤とした協働論に関する研究 －学校統廃合の事例分析を通して－	133
張 揚	
現代中国の「大学における教員養成」への改革と教員養成教育の変化に関する研究 －山東省の 2 つの大学についての事例分析－	139
星野 真澄	
米国カリフォルニア州における学級規模縮小プログラムの成立・展開過程の研究	145
『教育学論集』第 1 ～ 10 集 総目次	151
IV. 彙報	161
編集後記	164

CONTENTS

I . ARTICLES

Hodaka FUJII

Compulsory education from four year olds in Northern Ireland 1

Grigory MISOCHKO

A Study on Securing the Opportunities of Education for Foreign Nationals' Children in the Russian Federation
— From the Analysis of Immigration-related Laws and Regulations — 25

II . RESEARCH NOTES

Shinji KUBOTA

Preliminary Study to explore key challenges in system design and roles of school third-party evaluation: through examination of the discussion in the Council for the research to plan the guideline for school third-party evaluation 45

Shigeru YONEZAWA

Socrates' Concept of Friendship in Plato's *Lysis* 61

Akitoshi TEUCHI

Examination on a autonomus kominkan as a multipurpose community center:
Follow up the clue as the kominkan theory of Prof. Usagawa 83

III . Summary of Doctor's Thesis

『教育学論集』第1～10集 総目次

凡例

- この目次は、『教育学論集』第1集から第10集の総目次として編集した。
- 内容別に「研究論文」「研究ノート」「資料」「博士論文概要」「修士学位論文概要」に分類し、各項目ごとに刊行順に配列し、標題及び執筆者名を標記した。
- 彙報、編集規程、執筆要領、編集後記等は割愛した。
- 末尾に「発行組織名、発行年月日、総ページ数、編集委員長」を発行順に一覧表記した。

【研究論文】

第1集

- 堀 和郎・柳林 信彦 学校支援の教育改革の規定要因に関する実証的研究
—市町村教育委員会教育長に対する全国調査を基に—
- 山内 芳文 大学の学問としての教育学
—ライン、パウルゼン、トレルチの所論をめぐって—
- 大間 敏行 江藤新平における「道学」論の形成基盤
—佐賀藩時代の教育的背景を手がかりとして—
- 林 佳翰 R. W. Paul の批判的思考理論の特質
—民主的社会で求められる批判的思考者とその育成—
- 山口 誓子 La «Communauté éducative» dans plusieurs mondes en France
—à travers le changement du concept de «la vie scolaire»—
(フランスの『教育共同体』における複合的次元の諸相
—『学校生活』概念の変遷を通して—)

第2集

- 堀 和郎・柳林 信彦 教育委員会会議の活性化に関する実証的研究
—人口規模別に見る活性化要因およびその相対的規定力について—

- 李 垠松 兪吉濬の『西遊見聞』における社会進化論的傾向
—日本の社会進化論との関連を中心として—
- 生島 美和 棚橋源太郎の郷土博物館論の現代的意義
—地域博物館論の基盤としての位置づけ—
- 小野瀬善行 アメリカ NCLB 法制下における「高度な適格性を有する教員」
(Highly Qualified Teacher) に関する施策の特質
—多様な教員資格認定制度の整備を中心に—

第3集

- 安川 哲夫 リーパの「文法」の寓意図像について
—教育のイメージ変化に関する研究—

第4集

- 堀 和郎・柳林 信彦 自治体レベルにおける教育改革と人口規模
—教育委員会設置単位論の実証的考察のために—
- 相良 亜希 1990年代中葉以降のカナダにおける幼児教育・保育施策の特質
—連邦・州政府間関係に着目して—
- 橋本 憲幸 教育開発におけるグローバル正義
—マーサ・ヌスバウムのケイパビリティ・アプローチの視点から—

第5集

- 小柳 雅子 学校事故の解決における損害賠償制度と裁判の役割と限界
—学校教育活動が有する特性に着目して—
- 大間 敏行 『内外教育新報』にみる初期教育雑誌の一樣態
—沿革・発行部数・流通実態に焦点をあてて—
- 照屋 翔大 1980～1990年代アメリカにおける地方学区教育長のリーダーシップ
—「協働者 (collaborator)」という役割志向とその内容分析—
- 山内 規嗣 J.H. カンベ児童文学作品の改訂にみる叙述原理の変化
—『若きロビンソン』再読—

第6集

- 安川 哲夫 「文法」の図像学
—歴史的アプローチ—

生島 美和 博物館活動における学芸員の教育実践の再考
—伊藤寿朗「地域博物館論」の実証的検討を通じて—
タスタンベコワ・クアニシ カザフスタンの言語教育政策に関する一考察
—在外帰還カザフ人（オラルマン）の言語問題に着眼して—

第7集

米澤 茂 アISKINECの『アルキビアデス』と史的ソクラテス

第8集

星野 真澄 米国カリフォルニア州における学級規模縮小プログラムの財政構造

第9集

澤田 裕之 オランダの学校に対する公費助成方式の変容
—追加資金交付に係る基準に着目して—

浜田 博文・竺沙 知章・山下 晃一・大野 裕己・照屋 翔大
現代アメリカにおける初等中等学校の認証評価の動向と特徴
—学校の評価と責任をめぐる動向分析と理論的検討—

平田 諭治 嘉納治五郎の留学生教育を再考する
—近代日中関係史のなかの教育・他者・逆説—

安川 哲夫 幼少年期イエスの教育について
—外典「幼時福音書」の分析—

第10集

藤井 穂高 北アイルランドにおける4歳児就学義務制度の課題
ミソチコ・グリゴリー ロシア連邦における外国籍の子どもの教育保障
—移民関係法令の観点から—

【研究ノート】

第1集

法澤 剛一 日本における高校生留学政策の展開と今後の課題
—日本からの留学生派遣を中心として—

第2集

- 山内 芳文 『車輪の下』の虚構
—ヴェルテンベルク神学校成立小史—
- 平田 敦義 アメリカにおける学校を中心とした子どもへのサービスを統合する
プログラムに関する一考察
—成立の背景を中心に—
- 楊 嵐 中国の高等教育改革における教養教育の変容
—市場化への対応に焦点を当てて—

第3集

- 大戸 安弘 仏教教育としての遊行の位相
- 手打 明敏 地域的公共性の形成と公民館
—松本市の町内公民館に着目して—
- 山内 芳文 ドイツ教育史叙述断章
- ゴロバノバ・エフゲニヤ ロシア連邦におけるナショナル・マイノリティに対す
る教育保障
—「ナショナル・マイノリティの保護に関する枠組み条約」を手が
かりとして—
- 中村 裕 王政復古後のネパールにおける教育状況
—1950年代を対象とした教育統計の比較から—

第4集

- 石嶺ちづる 米国のハイスクールにおける学校訪問を中核とした職業教育改善に
対する支援の特徴
—テネシー州メンフィス学校区Aハイスクールを事例として—

第5集

- デメジャン・アドレット 国立大学におけるAO入試の実施過程と全体的特徴
—教育的視点に着目して—
- 池谷美衣子 社会教育学研究の視角としての「労働と余暇」の限界性克服に向け
た一試論
—ワーク・ライフ・バランスをめぐる議論を手がかりにして—

Suwit KUNGHAE A Comparative Study of School Evaluation System of
Elementary Schools in Thailand and Japan: Focusing on School
Accountability and Improvement

福野 裕美 米国アドバンスド・プレイスマント・プログラムにおけるアクセス
拡大に関する一考察

—全米レベルの取り組みに焦点をあてて—

三輪貴美枝 ヴェルテンベルク敬虔主義教育の思想継承（1）

—エーティンガー＝フラティッヒ往復書簡を主な手がかりとして—

第7集

三輪貴美枝 ヴェルテンベルク敬虔主義教育の思想継承（2）

～B.G. デンツェルの「問答教授」論をめぐって～

賈 燕妮 中国の学校と社区の連携による「素質教育」の推進

—天津市和平区における社区教師制度をてがかりにして—

第8集

河内 真美 「社会的実践としてのリテラシー」アプローチの意義と射程

—B. ストリートの理論と実践を手がかりに—

張 揚 1990年代以降の中国における公立教員養成系大学の課題に関する一
考察

—高等教育制度改革と教員養成制度改革の分析を通して—

第9集

内山絵美子 文部科学省の学校教育の多様化政策

—「専門性」と「参加」による教育の機会均等保障—

紅 桂蘭 中国内モンゴル自治区における民族文化活動に関する考察

—通遼市のウランムチを事例にして—

Chankea PHIN カンボジアにおける教育制度の歴史の変遷の考察

—パリ和平協定以前の教育制度に見る社会的特性—

馬 璨婧 中国における外国籍の子どもを対象とした「随班就讀」原則に関する一
考察

—インクルーシブ教育理念の影響を中心に—

第10集

- 窪田 真二 学校第三者評価の役割と制度設計上の課題探求のための予備的考察
—学校の第三者評価のガイドラインの策定等に関する調査研究協力
者会議での議論を手がかりとして—
- 米澤 茂 プラトンの『リュシス』におけるソクラテスの「友愛」概念
- 手打 明敏 多目的型地域センター施設としての自治公民館
—宇佐川満の公民館論を手がかりとして—

【資料紹介】

第6集

- 手打 明敏・河内 真美 タイの「ノンフォーマル教育及びインフォーマル教育局
(Office of the Non-Formal and Informal Education: ONIE)」関係資料

【博士論文概要】

第1集

博士学位論文概要（平成14年度～16年度）

第2集

- 三輪貴美枝 F.Ch. エーティンガー・人間形成論の研究
～教育的関心の収束過程に注目して～

第3集

- 尾上 雅信 フェルディナン・ビュイツソンの教育思想の形成に関する研究
—第三共和政初期教育改革史研究の一環として—
- 中村 裕 ネパール・王政復古期における国民教育制度創設過程の研究
- 濱田 博文 アメリカにおける「学校を基礎単位とした教育経営
(School-Based Management)」施策の展開と校長の新たな役割に関
する研究
—「学校の自律性」確立における校長の役割—
- 山内 規嗣 J.H. カンベ教育思想の研究
—啓蒙主義教育思想再検討の一環として—

山田 恵吾 近代日本における教員統制に関する研究
—千葉県学務当局の教育施策の展開過程からみた—

第5集

金藤ふゆ子 生涯学習関連施設の学習プログラム編成過程に関する基礎的研究
—学習プログラムの類型と規定要因の解明—

第6集

生島 美和 現代日本における地域博物館の理論と展開
—棚橋源太郎の博物館構想の解明を手がかりにして—

第10集

タスタンベコア・クアニシ カザフスタンの言語教育政策に関する研究
—母語教育保障の理念と実態に焦点を当てて—

橋本 憲幸 国際教育開発の正当化根拠に関する理論的研究

池谷美衣子 長時間労働に対する解決主体の形成に関する社会教育学的研究
—社会運動を通じた過労死遺族の変容に着目して—

嶺井 明子 戦後日本における国際理解教育政策の展開に関する研究

大谷 奨 戦前北海道における中等教育制度整備政策の研究
—庁立学校の設置過程と北海道会—

丹間 康仁 住民と市町村行政機関の学習を基盤とした協働論に関する研究
—学校統廃合の事例分析を通して—

張 揚 現代中国の「大学における教員養成」への改革と教員養成教育の変化に関する研究
—山東省の2つの大学についての事例分析—

星野 真澄 米国カリフォルニア州における学級規模縮小プログラムの成立・展開過程の研究

【修士学位論文概要】

第1集

修士学位論文概要（平成14年度～16年度）

第2集

- 嶋田 一仁 ヘルバルト教育論における美の概念の形成過程
- 橋本 憲幸 教育分野に関するセクター・ワイド・アプローチの特質と課題
—バングラディッシュにおける初等教育開発とそれに対する援助を事例として—
- 山尾祐喜子 世界銀行の高等教育援助戦略の特質と課題
—知識社会における格差是正に対する援助の意義—
- 相良 亜希 カナダ・オンタリオ州における子育て家庭支援制度の特質
—親育ち支援事業（Nobody's Perfect）における親のエンパワーメントの観点から—
- 戸室 憲勇 分権改革下における地方教育行政機構の再編に関する一考察
—教育事務の首長部局への移管に焦点を当てて—
- 前川奈津美 韓国ソウル特別市における初等学校進路教育支援体制の特質と課題

第3集

- 呉 迪 中国終身教育システムにおける社区教育の役割と課題
—社区教育実験区の事例を手がかりに—
- 池谷美衣子 教育問題としての労働と生活の調和に関する研究
—過労死問題への市民的取り組みに着目して—
- 石嶺ちづる 米国のハイスクールにおける職業教育改革の制度的特質
—南部地域教育連盟（SREB）による学校支援プログラムを中心に—
- 橋場 論 米国の大学のキャリア形成支援における準専門職学生の役割と課題
—ミズーリ大学キャリアセンターの事例を通して—
- タスタンベコワ・クアニシ カザフスタンの言語教育政策の歴史的展開にみる国民形成の課題
- 河内 真美 途上国の教育開発におけるエンパワーメントを目的とする識字教育の特質と課題
—リフレクト・プログラムを事例として—

- 照屋 翔大 現代アメリカの教育アカウンタビリティ政策実施過程における地方学区の戦略に関する研究
—ノースカロライナ州 A 学区の取り組みに着目して—
- 川口有美子 公立高校の学校改革における教育委員会の支援施策の意義に関する研究
—「中堅校」の改革に着目して—

第4集

- デメジャン・アドレット 国立大学のアドミッション・オフィス入試制度の現状と課題
—入試過程における大学関与のあり方に着目して—
- 姜 亨俊 学校経営研究における知識経営論の意義
—組織の自己革新に焦点をあてて—
- 杉田かおり イングランドのシティズンシップ教育における政策理念の展開
—「ナショナル・アイデンティティ」との関連に着目して—
- 福野 裕美 学業優秀者支援施策におけるアクセス拡大の取り組みに関する一考察
—米国カリフォルニア州のアドバンスト・プレイスメント・プログラムを事例として—
- 本谷 一輝 大瀬甚太郎の教育史学の形成

第5集

- 澤田 裕之 オランダにおける親の学校選択の歴史的展開
—憲法第23条の制定と修正を巡る議論に着目して—
- 賈 燕妮 中国における学校と社区との連携に関する研究
—思想道德教育に注目して—
- 丹間 康仁 行政との協働における住民の参加と学習
—学校統廃合の過程と住民組織に着目して—
- 星野 真澄 米国カリフォルニア州における学級規模縮小の法制化に関する研究
—教員の職能開発に着目して—

【発行組織名、発行年月日、総ページ数、編集委員長】

教育学論集	第1集	教育学専攻	2005年3月	246P	手打明敏
教育学論集	第2集	教育学専攻	2006年3月	192P	手打明敏
教育学論集	第3集	教育学専攻	2007年3月	237P	大戸安弘
教育学論集	第4集	教育学専攻	2008年1月	134P	大戸安弘
教育学論集	第5集	教育基礎学専攻	2009年3月	234P	大戸安弘
教育学論集	第6集	教育基礎学専攻	2010年3月	143P	大戸安弘
教育学論集	第7集	教育基礎学専攻	2011年2月	76P	安川哲夫
教育学論集	第8集	教育基礎学専攻	2012年2月	73P	安川哲夫
教育学論集	第9集	教育基礎学専攻	2013年2月	220P	米澤 茂
教育学論集	第10集	教育基礎学専攻	2014年3月	164P	嶺井明子

彙 報

1. 博士学位授与者<学位名 筑波大学 博士(教育学)> (2011～2013年度)

授与日 2012年2月28日
氏 名 タスタンベコア・クアニシ (博士後期課程 教育基礎学専攻)
論文名 カザフスタンの言語教育政策に関する研究
一母語教育保障の理念と実態に焦点を当てて—
主 査 佐藤眞理子教授
副 査 窪田眞二教授、嶺井明子准教授
塚田泰彦教授 (学校教育学専攻)

授与日 2012年3月23日
氏 名 橋本 憲幸 (一貫制博士課程 教育学専攻)
論文名 国際教育開発の正当化根拠に関する理論的研究
主 査 窪田眞二教授
副 査 手打明敏教授、米澤茂教授
岡本智周准教授 (ヒューマン・ケア科学専攻)

授与日 2013年2月28日
氏 名 池谷美衣子 (博士後期課程 教育基礎学専攻)
論文名 長時間労働に対する解決主体の形成に関する社会教育学的研究
一社会運動を通じた過労死遺族の変容に着目して—
主 査 手打明敏教授
副 査 安川哲夫教授、佐藤博志准教授
飯田浩之准教授 (ヒューマン・ケア科学専攻)

授与日 2013年3月31日
氏 名 嶺井 明子 (筑波大学人間系准教授)
論文名 戦後日本における国際理解教育政策の展開に関する研究
主 査 佐藤眞理子教授
副 査 窪田眞二教授、濱田博文教授
岡本智周准教授 (ヒューマン・ケア科学専攻)

授与日 2013年3月31日
氏名 大谷 奨（筑波大学人間系准教授）
論文名 戦前北海道における中等教育制度整備政策の研究
一庁立学校の設置過程と北海道会—
主査 窪田真二教授
副査 濱田博文教授、手打明敏教授、平田諭治准教授
伊藤純郎教授（人文科学研究科歴史・人類学専攻）

授与日 2013年4月30日
氏名 丹間 康仁（日本学術振興会 特別研究員）
論文名 住民と市町村行政機関の学習を基盤とした協働論に関する研究
—学校統廃合の事例分析を通して—
主査 手打明敏教授
副査 濱田博文教授、米澤茂教授
唐木清志准教授（学校教育学専攻）
水本徳明准教授（ヒューマン・ケア科学専攻）

授与日 2013年12月31日
氏名 張 揚（博士後期課程 教育基礎学専攻）
論文名 現代中国の「大学における教員養成」への改革と教員養成教育の変
化に関する研究—山東省の2つの大学についての事例分析—
主査 濱田博文教授
副査 窪田真二教授、佐藤博志准教授
飯田浩之准教授（ヒューマン・ケア科学専攻）

授与日 2014年3月25日
氏名 星野 真澄（博士後期課程 教育基礎学専攻）
論文名 米国カリフォルニア州における学級規模縮小プログラムの成立・展
開過程の研究
主査 藤井穂高教授
副査 窪田真二教授、濱田博文教授、佐藤眞理子教授
田中統治教授（学校教育学専攻）

2. 博士論文中間研究発表会 (2013年度)

開催日 10月30日 (水) 13:00 ~ 16:00

会場 教育学域大会議室 (人間系学系棟 B532)

発表者 ミソチコ・グリゴリー (比較・国際教育学)

ロシア連邦における外国籍の子どもの教育保障に関する研究

馬 璨婧 (比較・国際教育学)

中国における外国籍の子どもの公立学校への受け入れ制度に関する研究

留目 宏美 (学校経営学)

養護教諭の職務実態と役割の再編に関する研究

—事例調査を中心とした学校組織の実態分析を通して—

蜂屋 大八 (生涯学習・社会教育学)

中山間地域の集落における住民の自治活動と地域づくりの関係性
—山形県金山町を事例として—

司会 安川哲夫教授

3. 専攻院生懇談会 (2013年度)

開催日 10月30日 (水) 16:15 ~ 17:00

会場 教育学域大会議室 (人間系学系棟 B532)

内容 研究環境・指導体制等に関する院生からの要望と意見交換

4. 専攻進学説明会 (大学院入試説明会、2013年度)

第1回 6月22日 (土)

会場：筑波大学東京キャンパス文京校舎

第2回 10月30日 (水)

会場：教育学域大会議室 (人間系学系棟 B532)

編集後記

『教育学論集』第10集をお届けいたします。

『教育学論集』はこの第10集をもって終刊とすることとなりました。

『教育学論集』は、筑波大学大学院博士課程の大幅な改組・再編の結果、2005年3月末を以て教育学研究科が30年の歩みに区切りをつけ、同年4月より人間総合科学研究科を構成する専攻へと移行した状況のなかで、人間総合科学研究科教育学専攻の機関誌として創刊されました。「空疎な権威主義や退廃を打ち破り、先人が残した学問的遺産を批判的に継承しつつ、教育学研究の新世紀に向けて前進しようとする人々のための自由な研究交流の場として『教育学論集』は歩みを始める。」(教育学専攻長：大戸安弘)と創刊号にはありました。その後、さらなる大学院組織の変化があり、第1集～第4集は教育学専攻、第5集～第10集は教育基礎学専攻が刊行してきました。

第10集に掲載された論稿は、論文が2点、研究ノートが3点であり、このほか、教育基礎学専攻に提出された博士論文の概要(2011年度～2013年度)、第1集～第10集に掲載された論稿一覧も掲載いたしました。

来年度からは、筑波大学の教育学研究の分野で刊行されています複数の論集・紀要などを一つに統合し、新しい形での論集を刊行する方向で準備を進めているところです。『教育学系論集』(教育学域・刊行)、『学校教育学研究紀要』(学校教育学専攻・刊行)などと統合し、研究誌として一層の充実を期したいと思います。

今後、新しい論集についての詳しい情報は、筑波大学人間系教育学域ホームページに掲載いたします。ご参照くださるよう、どうぞよろしく願いいたします。

(嶺井明子)

編集委員長 嶺井 明子 (人間系)

編集委員 藤井 穂高 (人間系)

佐藤 博志 (人間系)

執筆者 藤井 穂高 (教育基礎学専攻 教授 教育制度学)

ミソチコ・グリゴリー (教育基礎学専攻 大学院生 比較・国際教育学)

窪田 眞二 (教育基礎学専攻 教授 教育行政学)

米澤 茂 (教育基礎学専攻 教授 教育哲学)

手打 明敏 (教育基礎学専攻 教授 生涯学習・社会教育学)

『教育学論集』第10集

発行日 2014年3月31日

発行者 筑波大学大学院人間総合科学研究科教育基礎学専攻
つくば市天王台1-1-1

印刷 (株)イセブ
つくば市天久保2-11-20
